



犬・笑・暮だより vol.106

防ごう！愛犬の夏太り



「えっ、夏太り？ 夏バテのまちがいじゃあ？」と思いませんか？ もちろん、今年も猛暑と予告されている夏、暑さに弱い愛犬が夏バテしないかどうか心配ですよね。でも、注意したいのは、暑さに食欲減退し、ぐったり夏バテしてしまうワンちゃんだけではありません。

夏バテ or 夏太り

野生動物であった犬は、冬場は体温維持のために基礎代謝量が増えます。またそれを維持するための食事量を必要としていますが、暑くなると自然に食欲が落ち、夏の暑さに対応するため体脂肪を減らすといわれています。また、暑さで運動量が低下するので、食事量も少なくて済みます。

でも、現在は、猛暑で朝から晩までエアコンをつけた快適な部屋にゴロゴロする愛犬。朝晩の散歩だって、短めに切り上げないと熱中症になってしまつては大変ですし、第一、飼い主が暑くてたまりません。こんな日本の夏、飼い主も愛犬も快適な冷房下で過ごす時間が長く、食欲が普通にあつて、普通に食べていて、そして……運動不足(´・ω・´)

結果は当然「夏太り」という現象を生みだすのです。肥満は犬に、足や腰の関節と心臓への負担、運動の困難からくる運動不足などの悪影響を及ぼします。「ぼつちやりしてて可愛い。」とのんきなことは言っていられないわけです。

愛犬のボディ・コンディションを知ろう

犬が太っているか痩せているかは、一概には言えません。犬種による違いもかなりあるからです。サルーキーやイタグシなどのサイトハウンド系の犬は一見かなり痩せて見える体型です。

一方、ブルドッグなどの重心が低く、肩ががっしりした犬は太って見えますが、外見だけでは決められません。

もちろん、犬種ごとの標準体重がありますので、体重を測定することで判断できます。ただ、これもその犬種の標準的大きさの犬ならいいのですが、標準より大きかったり小さかったりすると、体重だけで判断はできません。

そこで活用されているのが「ボディー・コンディション・スコア（BCS）」という判定方法です。これは犬を真上から見たその見た目と、触った感触を「痩せすぎ／痩せている／標準／体重過剰／肥満」の5段階で判定しています。腰のくびれ具合で判断する見た目に、軽くタッチして肋骨や背骨に触れる感触を合わせて判定します。

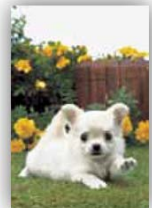
基本的に太りにくい体質のサイトハウンド系の犬種に対して、レトリバー系の犬種などは、水の中に入って仕事していたため、寒さから身を守るために脂肪が付きやすい体質です。もちろん寒い地方で運搬や牧畜の仕事をしていた犬種も脂肪が付きやすい上に、もともとこなしていたかなりの運動量を、日常生活でこなせられず、運動不足になりがちです。さらにチワワやミニチュアダックスなどの小型犬は、かわいがかわいいと甘やかしてオヤツのみならず、人間の食べ物などをあげがちです。

つまり、私たちの家庭で暮らす犬たちには、太りやすい条件がそろっているわけです。

フードの給餌量などの表示は、犬種などであまり細分化せず、一般的な体重の犬への適正量が表示してあります。

体質や暑さによる運動不足などを考慮せずに、冬場と同じ量や単純に表示してある適正量を与えては、愛犬の夏太りは避けられません。

夏こそ、愛犬の体調管理と体重管理にしっかり気を配ってあげましょう。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>



携帯サイトはコチラ！！

